

2020年1月実施

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない 空欄	ご意見及びご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	1			・室内、外共に十分スペースがあり、自由に安全に活動できる。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	5	8	1		・問題提起後、改善をしてもらうことができた。 ・兼務職員では十分に支援が行き届かないことがあるのではないかと感じる。 ・職員数がもう少し増えたらいいと感じる。 ⇒職員の配置基準は満たしているが、事業所の体制上兼務職員で運営している部分もある。限られた職員体制の中で、保護者支援を初め、より丁寧な療育が行えるよう、活動の工夫や、職員の資質向上に努めていく。
	3 事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	1			
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※1が作成されているか	12	2			・子どもが行う課題が本人に合っていないのではないか、と思う時があった。 ・学校と連携をとって、学校での子どもの様子や学校での取り組みを共有してもらえるといい。 ⇒6か月に1度、モニタリングを行い、保護者の同意のもと、支援計画の見直しを行っている。しかし、課題を達成するための、日々の具体的な療育内容について、保護者と十分に共有できていない時があった。今後、保護者と日常的に情報共有をしていくことができるよう工夫していく。 ⇒今後、モニタリング時期に合わせて、児発管が学校との情報共有をしていくようにする。
	5 活動プログラム※2が固定化しないよう工夫されているか	13	1			
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	13	1			
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	2			
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	11	2	1		・子どもの様子を病院に伝えてもらったり、子どもの状況を共有できている。 ・保護者の方から、職員に話しかけることができない人もいる。そうした人への配慮があるといい。 ⇒短い時間であっても、保護者と話をした際には記録をし、その記録をこまめに確認することで、話ができている保護者に気づけるようにする。どの保護者とも同等に情報共有ができるようにしていく。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	1	1		・職員が忙しそうで声をかけにくい。 ⇒日ごろの保護者との会話を大事にし、その会話がどの保護者とも同等に行えるようにする(上記対応参照)
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	3	1		・保護者同士の交流が、一部のみに偏っていた気がする。 ⇒次年度は、発達や悩みに合わせて小グループを作り、保護者向け茶話会を定期的に行っていく。

2020年1月実施

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない 空欄	ご意見及びご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	11 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12	1	1		・努力はしていると思う。 ⇒保護者がもっと相談しやすい仕組みをつくっていく(やりとりノート、意見箱の設置、相談受付のメールアドレスの開設、日常的に職員が保護者と情報共有をしていく工夫)
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	3			・問題にいち早く気付いてもらえたり、様子を教えてもらっている。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	12	1		1	・ステップ通信などを発行し、子どもの様子や保護者の頑張りなどを掲載すると、保護者もうれしいのではないかと。 ⇒行事の後には、活動の中での子どもの様子をおたよりにして発行している。行事以外の、日常的な子どもの様子や保護者の頑張りなどを、保護者全体で共有できる方法を検討していく。
	14 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	12		2		⇒個人情報の取り扱いには十分に注意をしているが、そのことに関する説明を丁寧に行っていく。
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	7	5	1	1	⇒マニュアルが十分に整備されていないものもあり、整備でき次第周知・説明を行う。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	3		1	⇒1年に2～3回避難訓練を行っているが、避難訓練を行った際の報告をしっかりと行う。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	9	3	2		・楽しんでます。 ・その楽しみを共有できるように会話したり、目標を設定したりと考えることで変わってきた。 ⇒職員皆で子どもたちひとりひとりの願いを考え合い、通所への期待につなげていく。
	18 事業所の支援に満足しているか	11	3			・外遊びが好きで、楽しんでいる。 ・職員も頑張ってくれているが、現状これが手いっぱいだと思う。 ⇒保護者の方がより事業所に信頼を寄せられるよう、子どもへの支援だけでなく、保護者支援にも力を入れていく。

*1放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供するうえでの留意事項等を記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。